



日時：2023年8月13日（金）19:00～20:30

会場：我孫子市 五本松公園（我孫子市岡発戸）

主催：手賀沼流域フォーラム実行委員会

後援：公益財団法人山階鳥類研究所

趣旨：手賀沼湖畔に棲む生き物を夜間に観察し、日中には見られない生き物の生態を知る。ライトトラップという観察方法を知り、親子で自宅や周辺の公園などでも夜の生き物観察を楽しみ、環境を大切に思う気持ちを育んでもらう。



**講師：三森 典彰 さん**

(株)BiotopGuild 代表取締役 / Forestthree 代表  
/ 東京環境工科専門学校非常勤講師

「僕が一番活きる活動の場ってどこなんだ？」という自身への問いに、都会っ子でありながら自然環境の保全や再生のプロを目指した自分が一番説得力を持つのは、都会の自然環境の保全・再生とそれらを活かした都会の人向けの環境教育や体験学習だ！と思いつく。現在は(株)BiotopGuildの代表として、“ビオトープ”という概念を用いながら、主に都市部の自然環境にまつわる仕事に従事。自然に興味がない人にも日常の中で楽しみながら自然や生きものに目を向けてもらえる仕掛けづくりがモットー。



**講師：嶋本祐子さん（一般社団法人 まどかこどもレグル 代表）**

自然観察会など、専門家と自然や農業に触れる体験を通じて子どもたちの感性や創造力を育み、地域や幅広い世代とのつながりをサポートし、持続可能な地域社会を目指しています。

**田島友昭さん（岡発戸・都部の谷津を愛する会 代表）**

動植物全般に詳しくチョウの専門家です。

※流域各市の広報等で参加を呼びかけ、15家族が参加しました。

参加：一般参加 42人（15家族、子ども21人・大人21人）スタッフ 11名、講師3名



朝から雨が降りやまなかったため、中止も検討したが実施できる降雨量と判断した。残念ながら雨は強くなる一方であった。そのため会場設営は最小限とし、受付も車の後部ドアを開けて実施。

## 19:00 開始



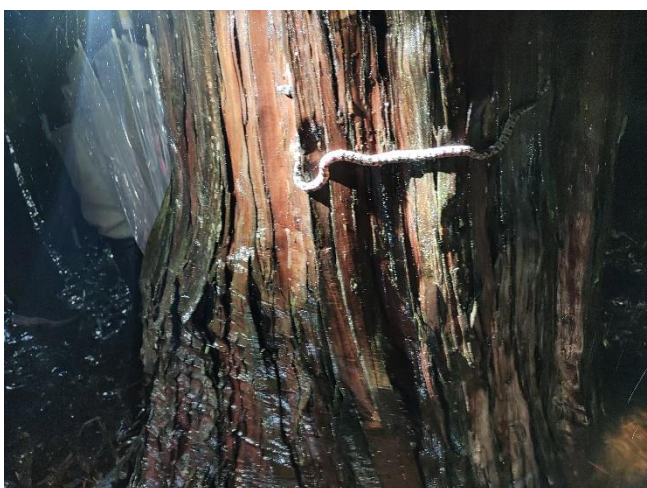
講師自己紹介



設営したライトトラップの説明



■3グループに講師が1人ずつ付き、グループで行動する。雨のためスケジュールを速めながら観察



■生き物観察エリアでシロマダラを発見、講師から「観察会で見ることにはなかなか無い」との説明があり、全員でしばし観察！





■ライトトラップに集まった虫を観察、雨がひどくなり、シートの水溜まりに虫が飛び込んでいた。



下見の際の羽化の様子



■生きものエリアでセミの羽化などを観察、地元の講師の説明を聞く。

### ■三森講師のまとめ

今日は雨だったので、見られると思っていた種の1/5くらいしか見られなかったけれど、今回おもしろかったら、条件が良ければ5倍楽しめるということです。まだまだ夏はこれから、虫の季節は秋までいっぱい楽しめる。特に夜間は色々楽しめる。トンボが寝ていたり、カマキリの眼が黒くなったり。今日の雨に懲りずにご自分の家の近くで、ぜひ夜の観察をしてみてください。

### 観察できたもの

セミの羽化、アブラゼミ成虫、ミンミンゼミ成虫、ヒグラシ成虫、カナブン、コガネムシ、サクラコガネ、マメコガネムシ、アオドウガネ、ドガネブイブイ、キマダラアオカメムシ、チャバネアオカメムシ、アオバハゴロモ、マルアワフキ、シロオビアワフキ、カネタタキ、ヒメゲンゴロウ、ゴマダラカミキリ、ヒカゲチョウ、サトキネマダラヒカゲ、モリチャバネゴキブリ、ナナフシモドキ、マツモムシ、コミズムシ、ニホンアマガエル、ヌマガエル、アオガエル、シロマダラ（ヘビ）、ニホントカゲ

### 参加者アンケートより

- ◆ 雨の中で準備など大変だったと思いましたが、おかげで貴重な体験ができました。
- ◆ 今回はあいにくの天気でしたが、ぜひ次回また機会があれば参加したいです。天気の良い時に観察ができたらうれしいです。悪天候の中開催していただきありがとうございました。
- ◆ 虫のことはよく知っているつもりでしたが、先生のお話を聞くと知らない事ばかり…親の方がよく学ばせていただき楽しかったです。今回は雨で残念でしたので、晴れるのを願って来年もまた参加したいです。
- ◆ とても素敵な体験ができました。ありがとうございました。

受付から終了までだんだん雨脚が強くなっていったが、講師の説明で、楽しくでき、雨だからこそ見ることができた生き物があり種類も昨年度より多かった。子ども達が熱心に取り組んでいた。